



『第3回片山津海岸保全対策技術検討会』を開催します。

～片山津海岸は侵食が激しく、護岸災害が頻発している。～

新堀川と尼御前岬に囲まれた片山津海岸（延長約2.3km、平成16年度直轄化区間）は、海岸侵食が激しく砂浜の大半が既に喪失しており、護岸の背後には北陸自動車道が接近（約40m）し、抜本的な侵食対策が望まれています。

また、本海岸は、漁業が盛んなことや、越前加賀海岸国定公園内に位置することから多くの人に利用されています。

このような現況をふまえ、平成22年度に防護・環境・利用に関してバランスのとれた保全対策を立案するため本検討会が発足し、過去2回の検討会では、礫養浜を主体とした保全計画が望ましいとの結果となりました。

しかし、事業実施にあたっては、礫養浜の実施例が少なく、現地における課題を確認する必要があることから、試験養浜を実施します。

この試験養浜を行うにあたり、試験養浜計画及びモニタリング計画を審議するため、このたび第3回片山津海岸保全対策検討会を開催します。

〈第3回検討会〉

【日時】 平成24年 5月21日（月）14：00～16：00

【場所】 金沢河川国道事務所（2階 会議室）
石川県金沢市西念4丁目23番5号

【審議内容】 ・試験養浜計画（案）について
・モニタリング計画（案）について
・今後の検討方針

※ 取材及び一般者の傍聴は、会議冒頭の委員長の挨拶までとさせていただきますので、ご理解をお願いします。
また、会議内容等の問い合わせは、会議終了後に事務局にてお受けします。

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
（河川）副所長 柳 正市

TEL : 076-264-8800（代表）

FAX : 076-233-9612

片山津海岸保全対策技術検討会 設立趣旨

新堀川と尼御前岬に囲まれた延長約2.3kmの片山津海岸（平成16年度直轄化区間）は、海岸侵食が激しく護岸被災が頻発しているため、海岸侵食に対する抜本的な対策が望まれている。また、本海岸は、岩礁域が存在すること、沖合では定置網漁が行われていること、越前加賀海岸国立公園内に位置し、尼御前岬を含む加佐ノ岬一帯は「いしかわの自然百景」に選出されていることなどから、防護・環境・利用に関してバランスのとれた保全対策が必要となる。

これまで2回の委員会（平成12年度加越沿岸海岸保全研究会、平成15年度加越沿岸海岸保全技術検討会）で、片山津海岸の保全対策が検討されており、本検討会は、この委員会の検討結果を受けて、さらに地元意見を踏まえ、コスト縮減を考慮し、最適な保全対策工法について、技術的な検討を行うことを目的として設立するものである。

片山津海岸保全対策技術検討会

【委員名簿】

(敬称略)

	組織・団体	役職	氏名	備考
委員	愛知工科大学	学長	安田 孝志	
	金沢大学	名誉教授	石田 啓	
	金沢大学	教授	由比 政年	
	国土交通省 国土技術政策総合研究所	海岸研究室長	諏訪 義雄	
	北陸地方整備局 河川部	河川計画課長	村山 英俊	
	石川県 土木部	河川課長	松本 英好	
	加賀市	建設部長	林 克之	
事務局	北陸地方整備局 金沢河川国道事務所	事務所長	有野 充朗	
		副所長（河川）	柳 正市	
		海岸課長	西川 一	
		海岸係長	佐成 孝夫	